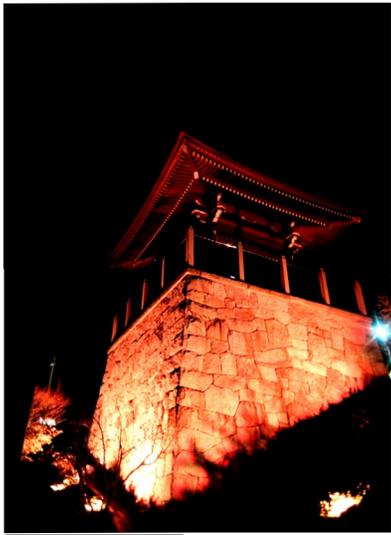


日蓮宗 常栄山 本照寺だより

恒例となった除夜の鐘

■「今年もお会いしましたね」
 ……除夜の鐘も平成17年から
 ですので、今回で12年目と
 りました。まこと、早いもの
 です。

鐘を撞いた方々は本堂へ参
 拝し、今年から再開された住
 職による新年の挨拶（お話）
 を聞き、無料の甘酒2種類
 （麴と酒粕）と爛酒に加え、玉
 こんにやくを食べながら、ド



⑤昨年のライトアップは青色
 でしたが今年はオレンジ色、
 白色と緑色は来年以降、⑥た
 き火で暖を取る皆さん、⑦今
 年は玉こんにやくと2種類の
 甘酒そして爛酒のサービスが

ラム缶の火で暖をとり、参加
 者は思い思いの立ち話を…。
 ■年々、参加者が増えてい
 るようです。今年はお手伝い
 くださった黒田君に鐘の音の
 数をカウントしてもらったと

ころ、92回のカウントがあり
 ました。

■今年も副住職がインタ
 ネットや看板での案内をした
 り、また3年前から「厚木市
 除夜の鐘」にてインターネッ
 ト検索をすると、本照寺除夜
 の鐘がトップに出てきます。
 昨年も「ネットを見て来ま

第68号
 厚木市下古沢133
 TEL・046-247-1156
 FAX・046-247-1156
 振替・0230-7-35749
 (加入者名・本照寺)
 発行所
 本照寺・須藤教裕
 携帯090-9151-6438

一泊二日で身延山

■「身延大会」が4月22日
 (土)〜23日(日)の1泊2
 日にて開催されます。毎年、
 聖地・身延山へ2千人前後が
 参集のもとに開催されるこの
 「身延大会」。

高木道浩 41

わたしは、セータイ
 みんな父さんの
 着ていたものです
 あたたいよ
 今日父さんの命日
 父さんの命日

「一首」が動く
 上を見たり
 下を見たり
 右を見たり
 左を見たり
 そんなある日
 散歩をしていたら
 とまどき後ろを
 振り返れど
 道という字に
 叱られた

手を挙げて
 青ばかりでは
 ないことも

朝の詩
 青空
 大阪市都島区
 有澤 豊 71

すごい雨
 飛行機は
 滑走路を
 急上昇
 雲を突き抜けた
 窓からの
 青空の光が
 まぶしい

地上の雨は
 嘘のよう
 私の悩みも
 突き抜ければ
 青空が見えるんだ

見守る
 京都府木津川市
 清水水子 61

母さんは
 カーディガン
 妹は、ズボン

道
 東京都府中市
 難藤恵一 77

道という字に
 「一首」がある
 道を歩くために

「一首」が動く
 上を見たり
 下を見たり
 右を見たり
 左を見たり
 そんなある日
 散歩をしていたら
 とまどき後ろを
 振り返れど
 道という字に
 叱られた

手を挙げて
 青ばかりでは
 ないことも

■「寒さにふるえた者ほど太陽をあたた
 かく感じる。人生の悩みをくぐった者ほど、
 生命の尊さを知る」。この言葉はウォルト・
 ホイツトマン（アメリカ・詩人）
 の言葉ですが、左記事の日
 蓮聖人のお言葉、「法華経
 を信じる人は冬のごとし。
 冬は必ず春となる」と少し通じるものがあ
 ります。即ち、冬の寒さ厳しき無くして春
 の喜びは味わえないということ。私の好き

な言葉、「雨の日には雨の日を、悲しみに
 は悲しみを、通さないと見えてこない喜び
 に、出会わせてもらおう・東井義雄」もそ
 うですね。更に卑近な例として、
 空腹という不幸があつて、食
 事をする喜びがありますね（笑）。
 要するに「一切の法（起こりうる
 は皆是仏法なり・日蓮聖人）」な
 り、「病によりて道心は起こり候」
 であり、更に「明けぬ夜はない」のです。

した」と、戸室から自転車
 来た2人組の学生もいました
 ね。今では、検索して調べる
 人が大半でしょうから、その
 効果も大きいのでしょうか。未
 だの方は、是非今年こそ！

【参加費】1万6千円です。
 多くのご参加を是非！
 詳細は聖徒団の地区役員、
 または本照寺へお尋ねくだ
 さい。締切りは4月1日。

【初日】バス午前8時白山
 集会所出発伊勢原身延
 山で昼食大会に参加ご
 廟所（びょうしよ・日蓮聖
 人のお墓）へ参拝お買
 物（宿坊（寺）へ宿泊（非
 日常！）

身延山団参」として参加。今
 年で通算52回目となります。
 是非、日蓮聖人・法華経を
 信奉する日蓮宗「本照寺」の
 お檀家として、日蓮聖人が9
 年間過ごされたお山、身延山・
 久遠寺へ参拝していただきま

【2日目】午前10時30分まで
 大会に参加。大会終了後、
 「沼津港」などに寄り道を
 しながら一路帰路へ♪

■「法華経を信じ、お題目
 をお唱えしている人が、もし
 人生の苦難に遭われたとした
 ら、季節の冬であると受け止
 めなさい。冬の後には必ず春
 がやって来ます。古来、冬か
 ら秋に逆戻りしたことはなく、
 それと同じように法華経を信
 じ切り、本当の信仰者となつ
 た者が、元の凡夫のような我
 欲や執着にまみれた世界に逆
 戻りした例も無いのです。」

日蓮大聖人のお手紙から

妙一尼御前御消息

「法華経を信ずる人は冬のごとし。冬は必ず春となる。」
 いまだ昔よりきかず、冬の秋
 とかえられることを。いまだき
 かず、法華経を信ずる人の凡
 夫となる事を。」
 54歳 於身延山 妙一尼宛

日蓮聖人に生涯深く帰依した
 女性です。その妙一尼からお
 衣の奉納をいただいたことへ
 の御礼と、妙一尼が夫を亡く
 されたことに対するお慰めの
 ご文章です。妙一尼はその夫

■最も不思議なお経、それ
 は法華経です。
 何故かという、悩み苦し
 みが大きければ大きいほど光
 り輝くお経だからです。法華
 経を信じ歩むならば、今は苦
 しくとも必ず光明は差して来
 ることでしょう。

お墓 100
 寺院墓地 墓石おとすに百年

本照寺様 出入り石材店
 株式会社イシックス
 0120-011140
 isix.jp

◆慈唱院美空日和清大姉（じしよういんみそらにちわせいたいし）。美空ひばりの法号である。今回は日蓮宗にゆかり深い方をご紹介したい。誰もが知る歌手、「美空ひばり」、そして参議院議員「武見啓三」である。「我が家の仏教・日蓮宗」渡辺宝陽・四季社より。

お題目との出会い

■昭和63年（一九八八）4月11日、満員の東京ドームで、「不死鳥ひばり」をアピールし、昭和の歌姫・美空ひばり再起を期してのコンサートが開かれた。

このコンサートが最後のものとなるが、この場にひばりさんの実家・加藤家の菩提寺住職（菅野海城上人）



CD「不死鳥」のジャケットより

の姿があった。住職はひばりさんが立っているのがやつとという状態を知っていた。心中「何とか最後まで歌ってくれれば」という思いで一杯であった。そしてひばりさんは見事に歌いあげた。しかし翌年6月24日、年齢52で不帰の人となってしまった。

■ひばりさんとお題目の出会い、昭和38年（一九六三）2月であった。父・加藤増吉の葬儀を縁として日蓮宗の寺（唱導寺・横浜市港南区）を菩提寺としたからである。ひばりさんの妹が法華篤信の家に嫁ぎ、それを勧めたという。

母・喜美枝さんとひばりさんは一卵性親子と評された。その母は昭和56年7月29日に逝くが、他界する前、

●私生活への応用

個人・家庭・私的な組織での応用例を表にまとめました。

①の場合、外部の視線と配偶者・子どもが適任でしよう。誰しも配偶者や親の健康を願うでしょうから、自分と利害が一致する。そのため、

②の場合、子ども・兄弟・配偶者の兄弟・配偶者の親が外部の視線に適任でしょう。誰しも自分の親・兄弟・子どもの経済的な安定を願う。

反省を行動へつなげるための外部の力（後編）

副住職のコーナー



今後、本照

●今後の抱負

外部の視線の導入は、確かに個人・組織の改善対応の実行率を高めますが、手間がかかるのが難点です。細かい組織で取り入れられる場合、人手が足りず他の業務に支障が出る恐れもあります。

応用場面	課題の例	外部の適任者
①個人	・健康のために日々の晩酌を止めること	配偶者・子ども
②家庭	・老後の収支計画の作成	子ども・兄弟・配偶者の兄弟・配偶者の親
③私的な組織	・サークルの管理業務の改善	サークルのOB・OG

寺では、業務量とのバランスを考慮しながら、ポイントを絞って外部の方の視線を取り入れていきたいと思えます。

■「千万人といえども我往かん」

25年間、日本医師会会長を務め、「ケンカ太郎」との異名をとった武見啓三氏が、どんなに反対が多かろうとも、自分が正しいと思つた信念を貫き通すという意味である。

■太郎には大きな夢があった。それはライフサイエンス（生命科学）の構築である。精神文化と医学・科学との融合した新しい医学を確立しようとするものであった。

この父の夢を政治の場で実現しようとしたのが次男武見啓三氏である。

■慶応大学で政治学を学び、大学院を修了した後、海外留学。台湾師範大学やハーバード大学に研究員として派遣され、国際政治の在り方を学び、国際感覚を身につけ、帰国後、東海大

日蓮宗にゆかりの深い2人をご紹介します

ケンカ太郎の次男

我往かん

武彦さん）が共に42歳で続いて逝った。住職は月に一度、目黒にあるひばり邸へ回向に行ったが、在宅の時は必ず後ろに坐って読経・唱題した。そして、お経が終わって住職とお茶を飲みながら話をするのを楽しみにしていたという。

■ある時、菅野住職に「何故、私の身内ばかりに不幸が起こるんでしょう」と尋ねた。住職は「不幸はあなたばかりではないので

美空ひばり（昭和12年5月29日〜平成元年6月24日）は、日本の歌手、女優。横浜市磯子区出身。12歳でデビューして「天才少女歌手」と謳われて以後、歌謡曲・映画・舞台などで活躍し自他共に「歌謡界の女王」と認められる存在となった。昭和の歌謡界を代表する歌手・女優の1人であり、女性として史上初の国民栄誉賞を受賞した。本名は加藤 和枝。愛称は御嬢（おじょう）。身長147cm。

編集後記

新年号は喪中につきお休みとしましたので、付け届け用紙はこの度の送付となりました。美空ひばりの法号は慈唱院美空日和清大姉ですが、当初は清が無き「美空ひばり」などと言ったものでは、清が追贈された次第。今回は日蓮宗にゆかりの人として2人を紹介しましたが、何となくその最高位は宮沢賢治でしょう。法華経無くして一連の児童文学は生まれず、「宮沢賢治」も存在しません。今宮沢賢治は岩手県花巻市、日蓮宗身照寺に「居ります」。

武見啓三（たけみ けいぞう）昭和26年11月5日東京都港区生まれ。慶應大学法学部政治学卒業。教授、TVアナウンサーから平成7年参議院議員に初当選。現在4期目。慶應義塾大学、長崎大学、身延山大学客員教授。外務政務次官、参議院外交防衛委員長、厚生労働副大臣を歴任。

学政治学部で教鞭をとることになる。

■平成7年、東海大学を退職し、政界に打って出る。敬三氏の母は内大臣牧野伸顕の孫。大叔母は吉田茂元首相の妻である。父は医師会の代表として歴代厚生大臣と熱い議論を展開した人であった。このような環境、政治的血統が敬三氏を育んだのであろうか。

参議院比例区の議員として初当選し、現在は4期目を務めている。

敬三氏の掲げた政治理念は、三つの守る、①国民生活を「守る」②国を「守る」

父、太郎が存命の頃から武見家の人々は法華信仰の絆で強く結ばれていて、必ず年一回家族と共に身延山に詣で、朝は仏壇の前でお勤めが行われている。敬三氏は次男であるが、武見家の意志を継ぐ証として、堀之内妙法寺住職に、曼荼羅の染筆を願い出した。その時の住職は日蓮教学の最高権威・茂田井教亨先生であった。茂田井先生は「領家の尼」の新尼には御本尊を授与し、大尼には授与しなかつた因由を説明して授けた。

敬三氏は自身が思い悩んだ時、政治課題で判断が求められる時、茂田井先生が認めた御本尊の前で端坐し、御題目を唱えて心を整えるという。

毎年家族で身延に